

**公の施設に係る受益と負担のあり方検討懇話会の
検討スケジュールについて**

No	懇話会検討項目	懇話会 (予定)
1	<ul style="list-style-type: none"> ●検討の趣旨（基準検討・策定の目的） ●検討スケジュール ●公の施設の現状と課題 <ul style="list-style-type: none"> ・財政状況の推移、人口の推移 ・公共施設の保有量、築年別状況と更新費用 ・公共施設マネジメントの取り組み ・受益者負担の現状、減免実施状況、他都市の状況 ●受益者負担による使用料等の基本的な考え方 <ul style="list-style-type: none"> ・検討対象施設 ・受益者負担の対象とする費用の範囲 	4月25日
2	<ul style="list-style-type: none"> ●使用料等の設定基準について① <ul style="list-style-type: none"> ・性質別分類の基準と負担割合 ・対象施設種類別の負担割合 ・使用料の算定方法、激変緩和措置 ●減免の見直しについて① 	5月下旬
3	<p style="text-align: center;">（第2回の検討に引き続き）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使用料等の設定基準について② ●減免の見直しについて② 	6月中旬
4	<ul style="list-style-type: none"> ●使用料等の設定基準の素案 <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの実施スケジュール 	7月上旬
5	<ul style="list-style-type: none"> ●使用料等の設定基準の成案 <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントでの意見等の報告 	10月上旬

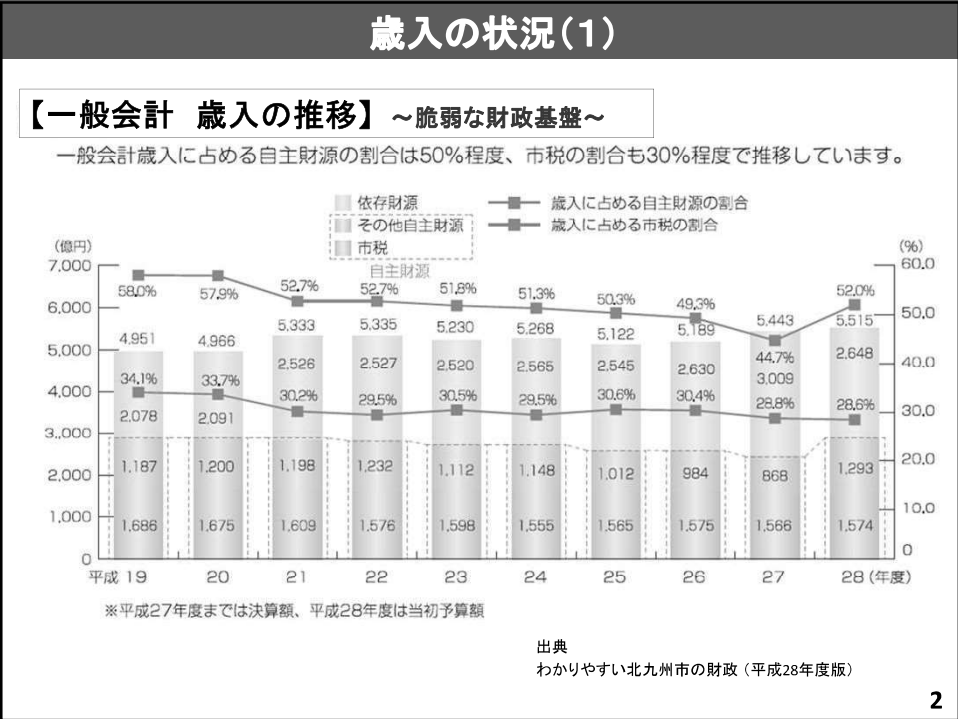
※2回目以降の検討項目及び日程は現時点での予定です。

資料5

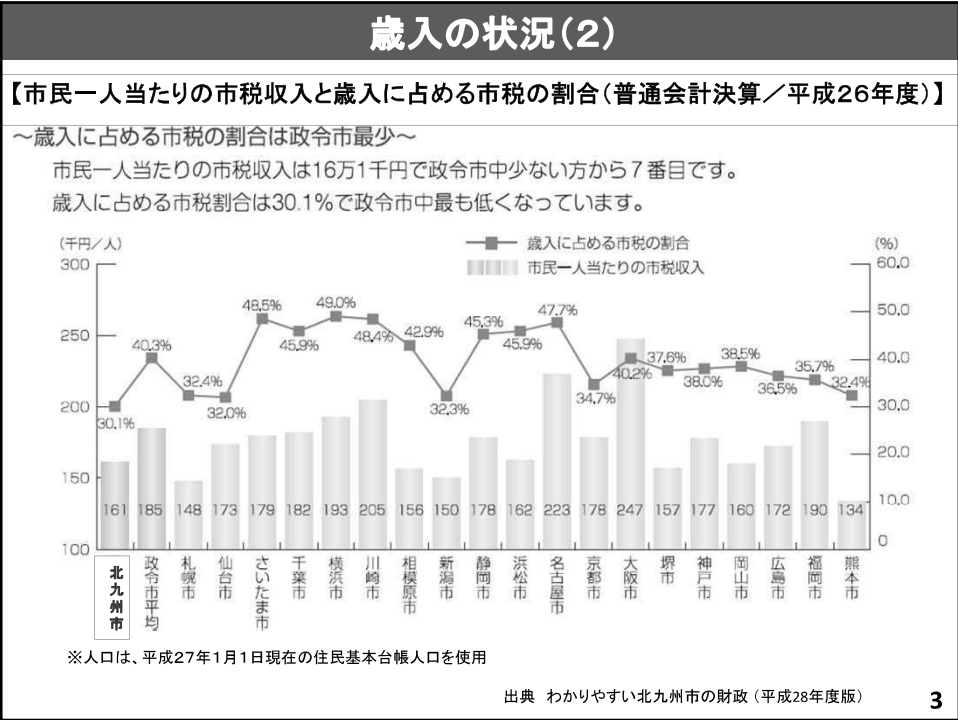
第1回 公の施設に係る受益と負担のあり方 検討懇話会 説明資料



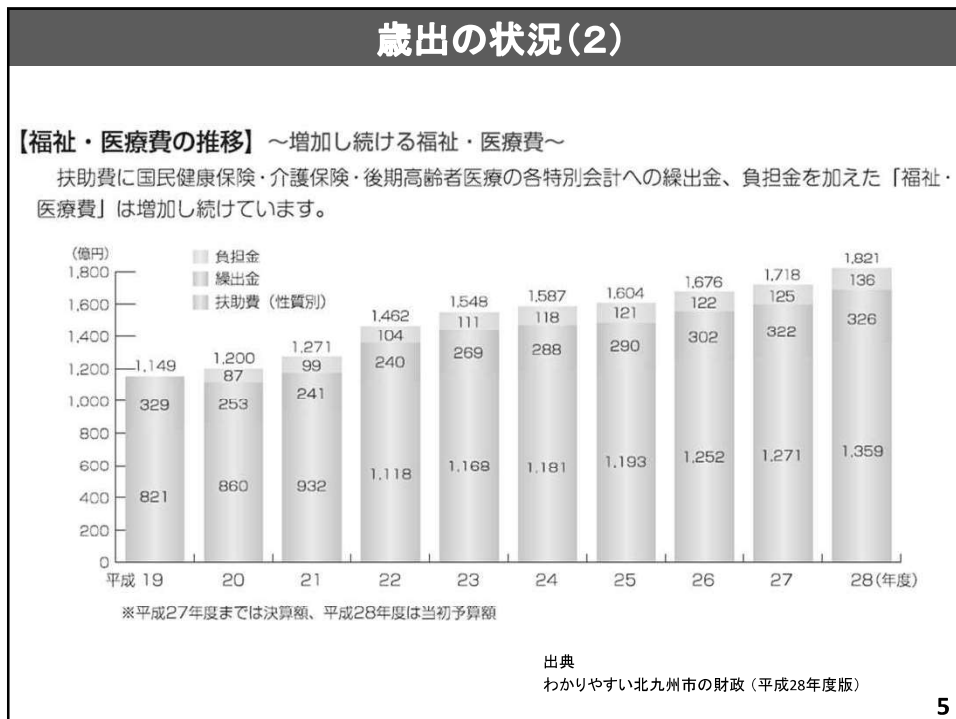
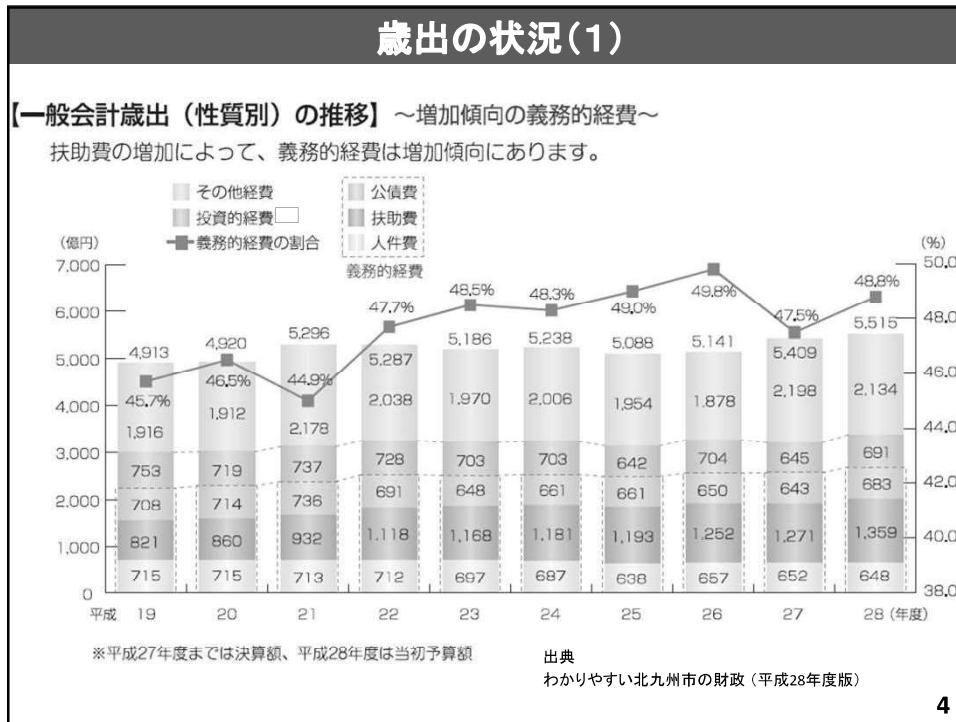
1 公の施設の現状と課題

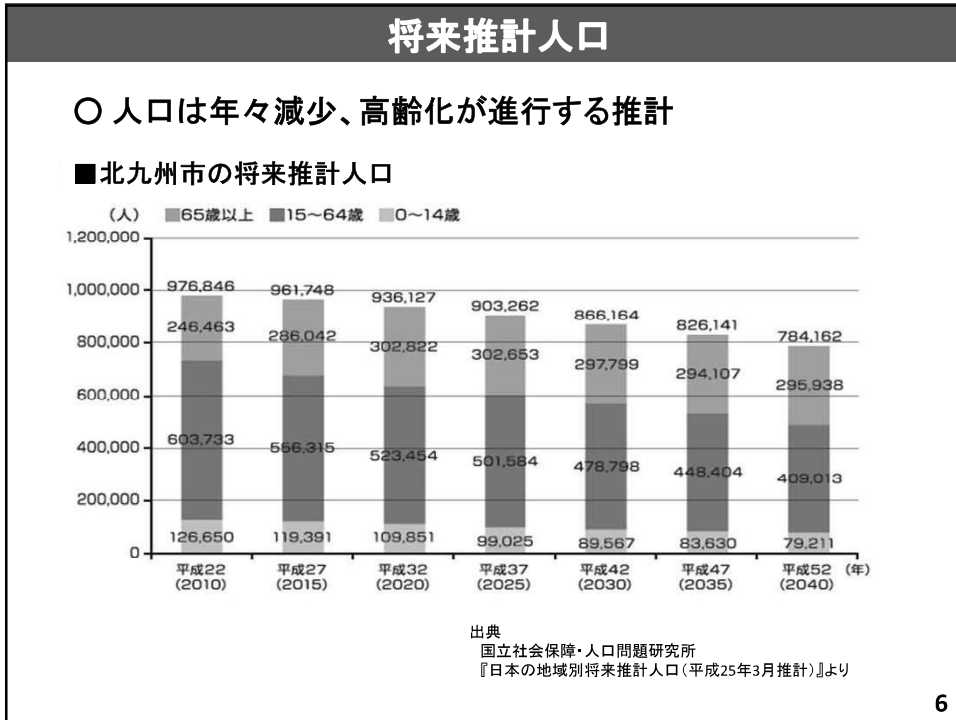


2



3





- ### 行財政改革の取組み
- 北九州市行財政改革大綱(平成26年2月)
1. 簡素で活力ある市役所の構築
 2. 外郭団体改革
 3. 官民の役割分担と持続的な仕事の見直し

行政サービスや受益と負担水準については、他都市との水準比較や本市の特徴、財政状況等を踏まえ、市全体として総合的な視点で検討を行います。
 4. 公共施設のマネジメント

基本的な考え方

 本市が保有する全ての公共施設を対象に、市全体の公共施設の総量抑制、施設の維持管理・運営方法の見直し、資産の有効活用等、公共施設に関する将来的な財政負担を軽減するための取組みを積極的に進めます。
- 出典
北九州市行財政改革大綱(平成25年度策定)より
- 7